

実績語り信頼拡大

ネットワーク生かせ

臨機応変な「現場力」強化も

東京・山梨の夏季研で山口代表



山口代表が出席し開催された党東京・山梨県本部合同の夏季議員研修会＝22日 東京・新宿区

公明党の山口那津男代表は22日、東京都新宿区で行われた党東京都本部（高木陽介代表＝衆院議員）と山梨県本部（安本美紀代表＝県議）合同の夏季議員研修会に出席し、党勢拡大でも重要な議員の実績だと述べ、「ネットワークを生かした政策実現を通じて、次の戦いに勝利していく」と呼び掛けた。

山口代表は、議員が磨くべき「議員力」のうち「政策力」について、「一番説得力があるのは、公明党のネットワークを生かした政策実現のストーリーだ。具体的にはどのように実現したかを語れば、聞く人は、真実味を持って聞くことができる」と強調した。その具休例として、公明議員が「開かずの踏切」解消に向け、

国と都、区が連携し竹ノ塚駅（東京都足立区）の高架化を推進した実績を紹介し、「ネットワークは、ほかの党にはまねできない、公明党の持ち味だ」と力説した。

議員の「現場力」アップに向けては、今月6日に広島市を訪問した際、当初の予定を変更し、広島平和記念公園内にある韓国出身の被爆者の慰霊碑を訪れ、献花したことを報告。その模様がメディアに取り上げられたことに触れ、「一瞬の現場の判断、対応がいろいろな波及効果を生む」と訴えた。

山口代表は、「公明新聞拡大や議会対応にエンジン全開で取り組もう」と語った。

予定候補9氏を紹介した。引き続き行われた臨時都本部大会では、太田議長が、「各議員が地域の課題を解決し、信頼される『地域の柱』になろう」と強調。政策実現では、「行政関係者や有力者などとの『自分自身のネットワーク』を広げることによって実現力が増す。住民の喜びが自分のエネルギーになるという思いで、日常活動を頑張るしてほしい」と力説した。

高木都代表は、葛飾区議選（11月12日投票）の公認

予定候補9氏を紹介した。